

胃がんリスク層別化検診(ABC検診)

群分類		A群	B群	C群	D群	E群(除菌群)
ABC 法 ⁽⁵⁾	ピロリ菌 抗体価 ⁽⁶⁾	—	+	+	—	胃がんリスク層別化 の対象外 ⁽⁴⁾
	ペプシノ ゲン値	—	—	+	+	
胃粘膜状態の予測		胃粘膜萎縮は ない	胃粘膜萎縮は 軽度	胃粘膜萎縮が 進んでいる	胃粘膜萎縮が 高度	長期経過で胃粘膜 萎縮が改善傾向
胃がんの危険度		低			高	除菌で胃がん発生リ スクが34%低下 ⁽³⁾
1年間の胃がん 発生頻度予測		ほぼゼロ (1)	1000人に 1人 ⁽¹⁾	500人に 1人 ⁽¹⁾	80人に 1人 ⁽¹⁾	500人に 1人 ⁽²⁾
胃内視鏡検査		原則勧奨せず ⁽⁷⁾	定期的胃内視鏡検診、および専門医受診を勧奨			
ピロリ菌除菌		不要	他のピロリ菌検査陽性なら必要			除菌不成功例は 必要

(1) GHN (Gastro-Health Now) 1号 (2008.1.1) (2) Kamada T et al, *Aliment Pharmacol Ther* 21: 1121, 2005 (3) 日本ヘリコバクター学会
ガイドライン2016改訂版 (4) GHN増刊号 (2016.9.15) (5) Miki K. *Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci* 87: 405, 2011 (6) ラテックスキッ
ト(添付文書のカットオフ値) (7) 自覚症状のある人、過去に画像診断を受けたことがない人は医師と相談(GHN 22号: 2012.10.1)